

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	10 05 07	中期総合計画主要施策番号	3-08	担当課	部・課	建設部河川課	
事業名	ダム施設改良事業(公共【河川】)				内線	3440	
					E-mail	kasen@pref.nagano.jp	
実施期間	H2 ~ H28	根拠法令等	河川法(第9条)				
実施方法	工事委託により実施					国庫・県単	国庫補助事業
事業の概要等	目的(必要性)	松川ダムにおいて貯水池の機能回復及び予備放流の解消を図れるよう、貯水池への流入土砂を軽減する洪水バイパスの建設、ダム機能を回復する貯水池掘削を実施し、洪水調節及び河川の流水の正常な機能の維持を図る。					
	対象	・松川流域					
	目指すべき姿	・貯水池の機能回復と予備放流解消のため貯水池掘削の実施 ・再開発後、貯水池への流入土砂を軽減する土砂バイパスの恒久堆砂対策の実施					
	事業内容	・貯水池の機能回復と予備放流解消のため貯水池掘削の実施 ・再開発後、貯水池への流入土砂を軽減する土砂バイパスの恒久堆砂対策の実施 ・補助率 国1/2、県1/2					
事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 (H24への繰越額317,783千円) 工事期間28年
	最終予算額 (A)		千円	774,177	694,207	500,000	
	決算額 (B)		千円	679,969	376,424		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	345,984	197,212	257,500	
	概算人件費	従事する職員数	人	3.00	3.00	3.00	
		概算人件費 (C)	千円	-	-	-	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	679,969	376,424	500,000		
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 <効率指標> 複数年にわたり、1つの構造物を施工するため、効率指標を算出できない。
	洪水バイパス施設(活)		m	66	33	0	
	分派堰工(活)		m	0	48	57	
	貯水地の掘削(活)		m3	0	0	10,000	
	<効率指標(単位当りコスト等)>						
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	・バイパス施設工事の進捗をあげる。			H23はバイパス工事のトンネル部分が完成し、分派堰工に着手できた。			b 期待どおり
事業の課題	区分		判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・有効貯水容量は、計画時と同等の容量を確保しているが、土砂の流入は継続しており、貯水地への流入土砂を軽減する恒久堆砂対策が必要な状況である。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)		・概ね期待どおりの成果が得られており、さらに事業のニーズは依然として高い。しかし、事業費が大きいため、コスト削減のための方策の検討が必要である。				
	特記事項		・貯水地掘削の方法等の検討が必要である。				